



全国ESDコンソーシアム/ステークホルダー円卓会議2025

次世代ユネスコ国内委員会の活動報告

次世代ユネスコ国内委員会
2025年2月22日

次世代ユネスコ国内委員会の活動について紹介させていただく

1. 次世代ユネスコ国内委員会について
2. ユースフォーラムについて
3. その他活動について
4. 次世代ユネスコ国内委員会の中長期的な発展イメージ

次世代ユネスコ国内委員会について

次世代ユネスコ国内委員会の紹介

次世代ユネスコ国内委員会は国内ユネスコ活動に関するユースのネットワーク強化やユースの声のユネスコ活動への反映、国際的な発信力強化を目的に2023年に組成された

背景・経緯

- 背景**
- ユネスコは、グローバルな政策議論にユースを巻き込むため、2年に一度のユネスコ総会に合わせて「ユースフォーラム」を開催している。
 - 2021年11月のユネスコ総会において、2022～2029年ユネスコ中期戦略が承認され、「ユース」が「優先グループ」の一つに位置付けられた。
 - 近年、ユネスコのあらゆるハイレベル会合及び分野別会合において、**各国ユースの参画がますます求められている。**

経緯

令和3(2021)年10月 日本のユネスコ加盟70周年の機会に、「次世代ユネスコ国内委員会※」を組織

※以下「委員会」という。

令和4(2022)年3月 委員会から「ユネスコ活動の活性化に向けて(提言)」を発表

令和4(2022)年度 委員会による上記提言におけるアクションプランの実行

令和5(2023)年4月 日本ユネスコ国内委員会運営小委員会の下に、「次世代ユネスコ国内委員会」を正式に設置

設置目的

- 国内ユネスコ活動に関する若者世代のネットワークを強化
- 未来を担う若者からの声を我が国のユネスコ活動に反映
- 国際会議等における日本の若者からの発信力を強化

活動事項

日本ユネスコ国内委員会運営小委員長の一般的監督の下に、日本ユネスコ国内委員会事務局と連携して、以下の事項を実施。

- ユネスコ活動を通じたSDGs等の地球規模課題の解決に向けた方策の検討
- 上記検討を踏まえた、国内外におけるユネスコ活動の実践
- ユネスコの各分野における若者向け事業への参画・貢献(事務局からの依頼によるもの)
- 日本ユネスコ国内委員会における定期的な活動報告
- その他日本ユネスコ国内委員会が認める事項

【参考】委員構成(令和6年4月時点)

計20名

所属	年代	性別
高校生	0	10代 1 男性 10
大学生	8	20代 18 女性 10
大学院生	6	30代 1
社会人	6	

次世代ユネスコ国内委員会のメンバー

次世代ユネスコ国内委員会は20名の多様なメンバーで構成されており、学業や仕事と両立しながらボランティアベースで活動している

	氏名	属性
委員長	小林 真緒子	院生
副委員長	沖田 広希	社会人
	川端 優木	学部生
	川上 寛人	学部生
	長澤 パティ明寿	学部生
	佐藤 世吉	学部生
	西野 月	学部生
	溝渕 実槻	学部生
	畠 麻理奈	学部生
	東 和佳奈	院生
	茶山 健太	院生
	大原 瑞萌	院生
	五十嵐 薫	院生
	笠井 春菜	院生
	Alejandro Martinez	院生
	日下部 遼	社会人
	長谷川 綾子	社会人
	谷垣 徹	社会人
	菅原 彩華	社会人
	小路 楓	社会人



週一回の定例
ミーティング（オン
ライン）含め活発
に活動しています



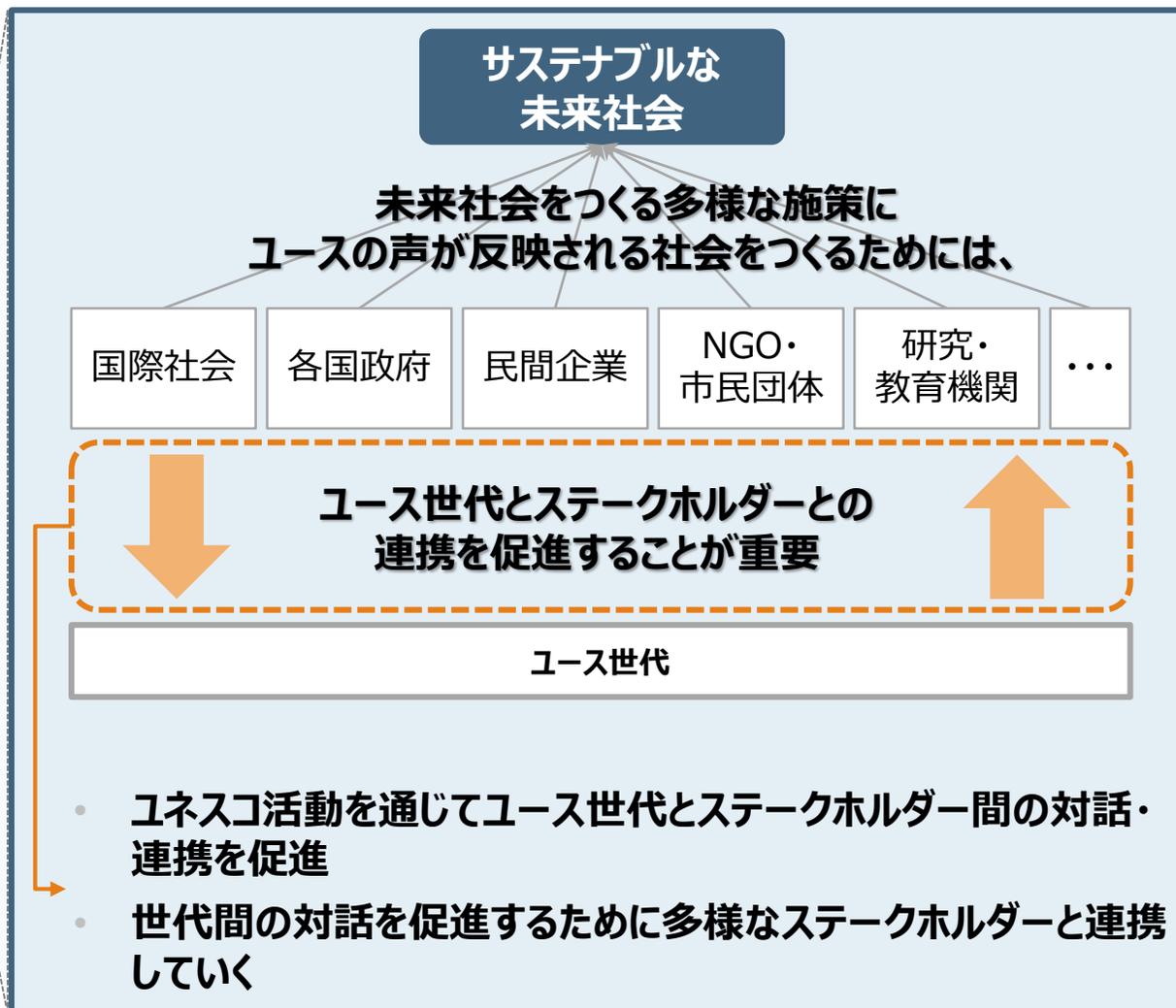
「未来社会をつくる多様な施策にユースの声が反映されていない」という課題に対して、ユネスコ活動を通じて解決し、ユースの声が反映された持続可能な未来社会を構築していく

課題認識

未来社会の主な担い手はユース世代であるにもかかわらず、未来をつくる多様な施策にユースの声が反映されていない

つくりたい未来社会

ステークホルダーとの連携により、未来社会をつくる多様な施策にユースの声が反映された持続可能な未来社会



活動概要と実績

2021年度から多様な活動を展開しており、ユネスコ活動の活性化に向けた提言策定やユースフォーラム開催など、多方面のステークホルダーと連携した実績あり

2021年度

ユネスコ活動の活性化に向けた提言作成



ユース世代の積極的参画を通じたユネスコ活動活性化に向けた**提言**を作成

Youth Conference for UNESCO



他国のユースと提言及びアクションプラン案について意見交換

ユースの巻き込みに関する
問題提起と活動の方向性定義

2022年度

対話型・平和構築ワークショップの開催



東広島市・広島大学とワークショップを開催

日本ジオパーク全国大会への参加



ユースセッションでユース約**30名**と交流
ポスター発表の実施

アジア太平洋地域教育大臣会合への参加



国際イベント@バンコクで**Youth Statement**を発表

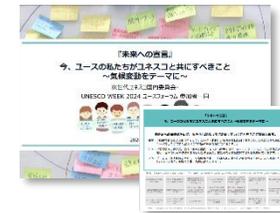
ユースとの協働に関する
関係者の意識醸成・ファン獲得

2023年度

ユースフォーラムの開催



ユースフォーラムを**初めて開催**し、**155名**を集客



参加者とともにユースフォーラムのアウトプットとして**未来への宣言**を作成

Youth noteの開設



次世代委員・他ユース活動を発信するため**Youth note**を開設
10本の記事を公開

ユースによる活動の
可能性・期待感の高まり

12月に開催したユースフォーラムが規模やインパクト等の観点で最大のイベントであり、そこに向けて教育・科学・文化分野の活動とメディア発信を推進してきた

ユースフォーラムの開催

日時 : 2024年12月1日 (日)
テーマ : 「今から、ここから、わたしから」
～ユースが集い、創る ユネスコ活動の未来～

ソーシャルメディアでの発信

次世代委員会やユネスコに関わるユースの活動をソーシャルメディア (Youth note, Facebook等) で発信し、委員会の知名度を高めた

分野ごとの活動の成果 (ネットワーク含む) をユースフォーラムに繋げていく

教育分野

- ・ **関西地区**でESD教育等に関するイベント*を開催し、ユース世代間のコネクション強化を推進
- ・ **第5回ユネスコスクール関東ブロック大会**において**ワークショップ型の分科会**を開催し、教育関係者との関係性を構築
- ・ ユネスコ活動に係る他のユースとの協力関係強化のため、**ユネスコクラブ**と連携し**オンラインイベント**を開催

ユース世代にとって望ましい教育について、教育に関わる多様なステークホルダーと考えていく場を構築

科学分野

- ・ 日本ジオパーク全国大会におけるユースセッションの運営を通じ、ジオパークに関わる**ユース世代のコミュニティ**構築を支援
- ・ **糸魚川ジオパーク、長岡技術科学大学**と共同で、糸魚川ジオパークの効果的な魅力・情報発信に関するプロジェクトの組成

ジオパークの認知度を高め、そこに関わるユース世代の横のつながりづくりに貢献

文化分野

- ・ **創造都市**
・ **創造都市**関連イベント等への参加ユースとの**ネットワーク**を構築
- ・ ユネスコ本部ユネスコ創造都市ネットワーク (UCCN) 事務局**日本人インターンにインタビュー**を実施し、ユースによる活動促進に関する意見交換を実施
- ・ 鶴岡市ユネスコ食文化創造都市認定10周年記念事業「**つるおかふうどフェスタ**」並びにエクスカーションに参加

ユネスコ文化分野の創造都市等の認知度を高めつつ、ユースの取り込みに関する方向性を定めた

ユースフォーラムについて

ユースフォーラムの開催概要

ユネスコウィーク最終日にユースフォーラムを開催し、現在ユネスコ活動を行っているユース間のつながりを強化することを主題にハイブリット形式で開催した

ユネスコウィーク（2024/2025）

開催概要

世代・地域・分野を越えたユネスコ活動の連携強化と新たな協働機会の創出

開催日程とプログラム

11/29(金) 国際シンポジウム

11/30(土) ユネスコスクール全国大会

12/1(日) ユースフォーラム

会場

- ・ オリンピック記念青少年総合センター
- ・ オンライン配信

主催

文部科学省
日本ユネスコ国内委員会
ユネスコ・アジア文化センター
(ACCU)

共催

UNESCO



Youth
Forum
2024/25

今から、ここから、わたしから
～ユースが集い、創るユネスコ活動の未来～

概要

ユネスコ活動に通じて取り組んでいるユース及びユネスコ活動に関心のあるユースが集い、意見交換をしながらネットワークを構築する場

主な対象者

- ユース世代*
- ・ 全国各地でユネスコ活動に取り組んでいるユース
 - ・ 過去に学校などでユネスコ活動に取り組んでいたユース
- 先輩世代*
- ・ ユネスコ活動関係者
 - ・ 教育関係者
 - ・ その他ユース世代やユネスコ活動に関わる関係者

想定参加人数

参加者数：127名（会場80名／オンライン47名）
（過年度）155名（会場48名／オンライン107名）

プログラム

次ページ以降で詳述

*イベントの目的を明確にするためユース世代と先輩世代とを分けているが、両者間に明確な線引きは存在しない。本イベントでは、便宜的ユース世代を15～30歳半ばと設定しており、学生及び教育機関卒業後の就労経験が10年未満程度を想定している。

ユースフォーラムのタイムテーブル

ユースフォーラムでは、全体会やテーマごとの分科会、ブース出展等を織り交ぜ、参加者同士で交流し、学びや知見を共有できるデザインとした

時間	内容	登壇者・詳細
10:30-10:45	オープニング	開会挨拶 本村宏明（文部科学省国際統括官付国際戦略企画官、日本ユネスコ国内委員会事務局次長） 趣旨説明 小林真緒子（次世代ユネスコ国内委員会委員長）
10:45-11:05	スペシャルインタビュー「ユースによるユネスコ活動への期待」	講演 河瀬直美（映画監督／ユネスコ親善大使） ビデオによる特別インタビュー
11:05-11:30	パネルディスカッション「ユースによるユネスコ活動のこれから」	モデレーター 末吉里花（一般社団法人エシカル協会代表理事） パネリスト ママードゥア・アイダ（金沢大学准教授） 永野蛍（世界ジオパークネットワーク・ユースフォーラム日本代表） 東和佳奈（次世代ユネスコ国内委員会委員）
11:30-13:00	交流会／昼食	ポスター展示 ユース団体によるポスター展示、企業・団体展示の見学及び交流
13:00-15:00	分科会A【教育】 「みんなでつくる『これからの学び』のカタチ ―ユネスコの勧告を手がかりに―」	モデレーター 川端優木（次世代ユネスコ国内委員会委員） 講師 永田佳之（聖心女子大学、日本国際理解教育学会長） 運営協力 玉川大学ユネスコクラブ、奈良教育大学ユネスコクラブ、特定非営利活動法人グローバルプロジェクト推進機構
	分科会B【防災】 「ユネスコの視点で防災を学び、実践する ―未来に生きる防災―」	モデレーター 溝渕実槻（次世代ユネスコ国内委員会委員） 講師 安川総一郎（UNESCO自然科学局防災課長） 柿崎喜宏（室戸ジオパーク推進協議会地質専門員） 運営協力 長岡技術科学大学学生SDGsプロモーター
	分科会C【まちづくり】 「共に考える『我がまち』の未来 ―ユネスコ創造都市ネットワークを事例に―」	モデレーター 長澤パーティ明寿（次世代ユネスコ国内委員会委員） パネリスト 井上貴至（山形市副市長） 鈴木彩子（山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局） 沓澤紗子・鈴木智也（ドキュ山ユース） 運営協力 青山学院大学ユネスコサークル Le Lien
15:00-15:20	休憩	-
15:20-17:10	ワークショップ 「My UNESCO Story Map ―これまでのユネスコ活動を振り返り、継続・発展させるためのヒントを得よう！―」	講師 金田晃一（株式会社NTTデータグループ サステナビリティ経営推進部） 横川結香（株式会社ファーストリテイリング サステナビリティ部） 郡山鈴夏（フォッサマグナミュージアム／糸魚川ジオパーク協議会） 沖田広希・谷垣徹（次世代ユネスコ国内委員会委員）
17:10-17:30	クロージング	フォーラム全体のまとめ 閉会挨拶

1 スペシャルインタビュー／パネルディスカッション

河瀬直美監督によるビデオメッセージにてユースへの期待等が語られたのち、ユネスコ関連の活動を行う登壇者によるユースによる活動の意義や課題感について議論した

スペシャルインタビュー



インタビューの要旨

- なら国際映画祭「Grand Voyage with アフリカ」におけるアフリカから参加した女性映画監督との交流に関する説明
- 情報過多の時代におけるやりたいことの見つけ方の難しさ
- ユース世代が一つの場所に集まることの意義
- ユースフォーラムに出席しているユースに向けたメッセージ

パネルディスカッション



ディスカッションテーマ

- ユースはユネスコ活動に対してどのような貢献ができるか
- ユースがユネスコ活動を行う際に感じている課題はなにか
- 上記活動を行う際の課題をどう解決していけばいいのか
- 多様なステークホルダーとの連携をどのように進めるべきか

2 分科会（教育／防災／まちづくり）

ユネスコと関連付けながら教育・防災・まちづくりをテーマに分科会を開催し、登壇者による講演、パネルディスカッション、グループワークなどで構成した

分科会A【教育】



- ユースを中心に、教員・行政・NPO・企業などと共に未来の学びのビジョンを描くワークを実施
- ユネスコ総会で採択された教育勧告について、永田佳之先生（聖心女子大学）による講演
- 変化の激しい社会を生き抜くため、ユースが主導し、社会全体で学びを育む第一歩になることを目的に開催

分科会B【防災】



- ユネスコ防災課長とジオパーク専門員を招き、「ユネスコ×ジオパーク×防災×ユース」をテーマに講義を実施
- 「未来に生きる実践」をテーマに、避難所を想定した備品を活用し、快適な避難所生活を実現するための「モノづくりワークショップ」を実施
- ユネスコの視点を取り入れた防災知識とスキルの習得を目的に設定

分科会C【まちづくり】



- 天災や社会的動乱を乗り越え発展してきた「まち」の文化や伝統を見つめ直し、地域の強みを再認識
- 「我がまち」の魅力等を語り合うワークショップを実施し、ユネスコ創造都市ネットワークの取り組みを紹介
- UCCN映画分野加盟都市・山形市の関係者・ユースとともに、まちづくりと創造都市活動の関わり、ユースの参画について議論

3 ワークショップ

最後のワークショップではキャリアに焦点を当て、ユネスコ活動を継続・発展させるためのヒントを得ることを目的に開催した

登壇者によるキャリア紹介



- 仕事をしながら社会貢献し続けるキャリア構築の方法について事例を元に解説
- 民間企業、教員、団体職員など多様な登壇者によるキャリア紹介

自身の活動振り返り・グループワーク



- 自身がこれまで実施してきたユネスコ活動などを紙に記載しながら、活動を始めたきっかけ、成長した時期等を振り返り
- その後、登壇者と対話しながらキャリアの方向性や社会貢献し続ける方法について理解を深めた

トークフォークダンス



- 2～3分ごとに相手が次々と変わり、決められたトピックについて会話していく「トークフォークダンス」を実施
- 下記お題に沿って会話
 - ✓ あなたがワクワクするのはどんな時？
 - ✓ 今日のイベント通して新しい気付きは？
 - ✓ 今後チャレンジしたいことは？
 - ✓ 明日から起こしたいアクションア？

その他に関連する活動について

第5回ユネスコスクール関東ブロック大会

第5回ユネスコスクール関東ブロック大会ではユースを対象にユネスコ活動の振り返りに関する分科会を次世代ユネスコ国内委員会として開催した

イベント名	第5回ユネスコスクール関東ブロック大会
イベント概要	<ul style="list-style-type: none">「ユネスコスクールと全人教育—若者エンパワメントに向けた教師の役割」をテーマに開催ユネスコスクールにおける教育活動に焦点を当て、若者のエンパワメントを促進するための教師の役割について議論
開催日時	2024年10月5日
会場	玉川大学
参加目的	第4分科会「My UNESCO Story Map ~ユネスコ活動を振り返り交流しよう~」の運営
活動概要	<p>参加者・目的の明確化 次世代ユネスコ国内委員会の教育班として分科会の運営と学生間のつながりを作るために参加し、ユース世代の活動をつなげることに焦点を当てた</p> <p>基調講演とパネルディスカッションの学び 学校教育の知の継承と社会的課題への対応をテーマにした議論を通じて、持続可能な社会におけるユースの役割・活動の意義を再認識</p> <p>分科会運営と振り返り 「My UNESCO Story Map」で活動の振り返りを行い、ユネスコ活動の目的と意義を深く理解</p>



ユネスコわかものプロジェクトと題し、災害への備えをテーマにオンラインでワークショップを実施した

イベント名	ユネスコわかものプロジェクト第1弾「災害への備え」
イベント概要	<ul style="list-style-type: none"> 「ユネスコスクールと全人教育—若者エンパワメントに向けた教師の役割」をテーマに開催 ユネスコスクールにおける教育活動に焦点を当て、若者のエンパワメントを促進するための教師の役割について議論
連携主体	<ul style="list-style-type: none"> 玉川大学ユネスコクラブ 奈良教育大学ユネスコクラブ
開催日時	2024年10月9日
会場	オンライン
開催目的	様々な場所でユネスコ活動をしている幅広いユース世代との交流を深めるため
活動概要	<p>参加団体の活動紹介 玉川大学ユネスコクラブ、奈良教育大学ユネスコクラブ、次世代ユネスコ国内委員会の活動紹介を行い、参加者間の交流を促進</p> <p>活動概要 災害の備えに関するアクティビティ、必要な避難グッズについて考えるワークショップ 今からできる防災知識や備えについて、参加者間で学び、必要になるであろう避難グッズについてワークショップ形式で意見出しをおこなった</p>



ユネスコわかものプロジェクト 第1弾

10月20日(日)
10時~12時
オンライン開催
お申し込みの方にリンクをお送りします

対象
ユネスコ活動・防災に関わっている
または関心のあるユース世代

内容
参加団体の活動紹介
災害の備えに関するアクティビティ

テーマ「災害の備え」
みなさんはいつか被災をかもしれない災害に対して十分に備えられていますか？
日本各地で「ユネスコ」に関わる活動に参加している「わかもの」たちとオンラインで楽しい災害への備えについて考えましょう！

ライフステージに応じて必要な避難グッズについて考えるワークショップ

参加申し込みはこちらから！ ▶▶▶
締め切り：10月18日(金)

主催：玉川大学ユネスコクラブ、奈良教育大学ユネスコクラブ、次世代ユネスコ国内委員会

防災情報の正しい知識とモラルをもって
適切な情報のみを受け取り、命を守りましょう。



国際会議への派遣

今年度はAI及び教育をテーマとした国際会議に委員を派遣しており、日本のユネスコ活動に関わるユースの視点から各国ユースとディスカッションを行った

イベント名	The Third International UNESCO Model
イベント概要	AIの教育における倫理的問題や教育へのAIの影響と課題について意見交換を実施
開催日時	2024年8月13日
開催国	カザフスタン

イベント名	6th Asia-Pacific Meeting on Education 2030 (APMED 6)
イベント概要	アジア太平洋地域の教育システム改革に関して議論し、教育2030目標達成に向けた取り組みや地域ごとの課題や成功事例の共有
開催日時	2024年9月10日～13日
開催国	タイ

イベント名	UNESCO International Forum on the Futures of Education
イベント概要	政策立案者や教育者などによる教育の変革に向けた議論の場
開催日時	2024年12月2日～4日
開催国	韓国



次世代ユネスコ国内委員会の広報活動

広報活動も積極的に推進しており、ユネスコ未来共創プラットフォームを基軸にしつつ、文部科学省のInstagramやX等でユース世代をターゲットに情報発信してきた

広報の概要 未来共創プラットフォーム上に掲載されている Youthnoteにおける発信

広報の目的 次世代ユネスコ国内委員会の活動の定期的な発信によるファンの獲得及び知名度の向上

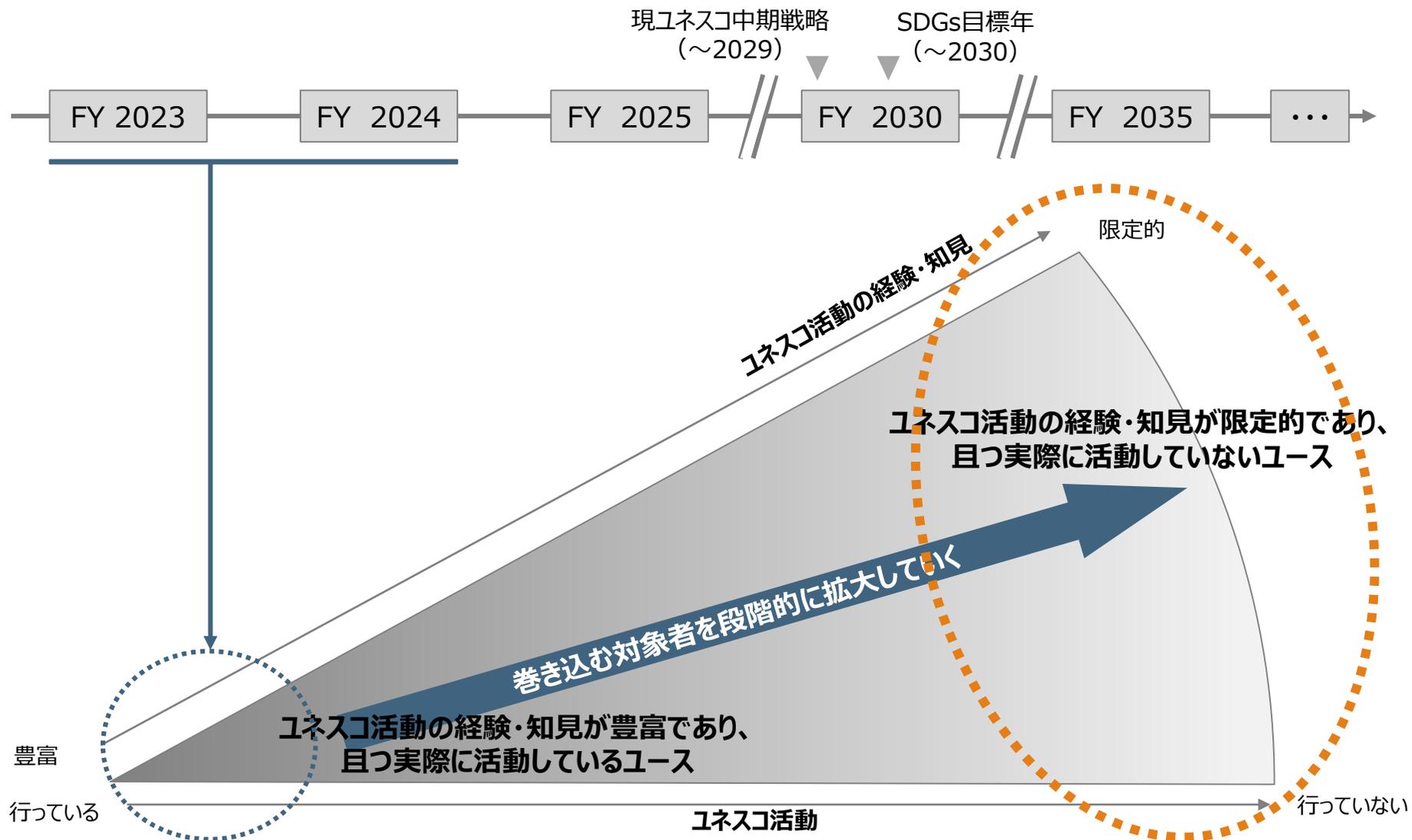
発信内容

日時	タイトル
2024年12月17日	まさかの大地从ら広がる未来 ～下北ジオパーク全国大会で感じた時空を超えるつながり～
2024年10月31日	第3回ユネスコウィーク ユースフォーラムの開催に向けた次世代委員の思い～ユネスコ活動に関わるユース世代の縦・横のつながりをつくりたい！～
2024年10月29日	2024年度 次世代ユネスコ国内委員会 オンラインキックオフミーティング報告
2024年6月28日	UNESCO WEEK 2024 ユースフォーラムを終えて～若い世代の可能性は無限大～
2024年4月12日	ユースの参画が創造性の種を蒔く～まちなかキャンパス（北海道旭川市）を体感して～

The collage displays various digital assets used for promotion. At the top is the UNESCO Future Co-creation Platform website. Below it is a Twitter post from @mextjapan announcing the forum. To the right is a Zoom meeting interface showing participants. At the bottom right is an Instagram post for the 'Coming soon' Youth Forum event, featuring a bell icon and the text 'ユースフォーラム' (Youth Forum).

次世代ユネスコ国内委員会の中長期的な発展イメージ

直近二年間でユネスコ関連の活動を行っているユースの巻き込みは一定程度進展した
今後はユネスコ活動の経験・知見が限定的且つ活動していないユースも巻き込んでいきたい





END